**付議事項**

2016.12.2

研究会担当 菊地

ａ）月例研究会運営の改善について

ｂ）広報用Facebookの導入について

**ａ）月例研究会運営の改善について**

1. 付議事項

月例研究会の運営について、2016年は下記の課題がありました。

そこで、改善案と合わせて提案いたします。

|  |
| --- |
| 1. **研究会担当が出席できないリスク** エルプラザの利用には、研究会担当が受領・保管する承認書が必要だが、 研究会担当が２名とも業務都合で出席できないor開始時刻が遅れる月があった。 2. **突然の業務都合による休会のリスク** 承認書が無いと施設利用が難しくなり、会場まで時間を要する。 承認書は１部しかないため、預かっている人（DVDや資料も保管）が 当日に突然の業務都合で欠席すると研究会開催が困難になる 3. **会場運営に関するリスク** 担当が欠席時、支部長か別の研究会担当に会場運営をご協力頂いていたが、 事前に承認書・DVD・資料を受け渡しする必要があった。 |

研究会担当どちらか１名が研究会を運営することが基本ですが、  
（菊地の個人的な都合ですが、2017年上期は金曜日に出張が入る可能性が増える事情もあり）①～③のリスクは当面潜在するため、円滑な運営を目指し下記対策が効果的と考えます。

|  |
| --- |
| 1. **エルプラザ施設利用承認書をＭＬにて事前共有（①のリスクに対応）** 開催前にエルプラザ施設利用承認書を撮影し、ＭＬに投稿する。 携帯電話などに保存した画像により、受付にて鍵の受け渡しが可能。 メリット：会場に早く到着した参加者は、待たずに入室が可能となる。 2. **ロッカーによる運営資材の保管（2017年4月～ ②③のリスクに対応）** エルプラザが登録団体向けに貸し出すロッカーに、当月研究会のDVDと資料を保管する。 ロッカーカード（ロッカー鍵を借りるカード）３枚は、当面は支部長と研究会担当が 保有し、事前準備・当日運営に利用する。（３名とも欠席時は事前調整） メリット：ロッカーカード保有者がいれば研究会を開催可能 |

1. 必要費用

７００円（税込）×１２ヶ月＝８，４００円（２０１７年４月～翌年３月分）

1. 運営イメージ
   1. （事前）研究会担当が、研究会開催の告知を実施
   2. （事前）研究会担当が、出席者集約（実施３日前程度）し、MLに投稿
   3. （事前）研究会担当が、事前に「DVD」「人数分の資料」をロッカーに収納
   4. （事前）研究会担当が、施設利用承認書の画像と、準備完了した旨をMLに投稿
   5. （当日）早く到着した参加者は、上記④の画像により入室可能
   6. （当日）研究会担当いずれか１名が、会場を準備し、資料などを配付して運営  
      　※研究会担当が出席できない場合は、ロッカーカード所有者が上記をだいたい
   7. （当日）研究会終了後、使用済みのDVDや資料はロッカーに戻す

**ｂ）広報用Facebookの導入について**

1. 付議事項

下記を目的に、北海道支部の広報用Facebookアカウントの新設を提案します。

システム監査に興味ある道民・道内企業に「身近なSAAJ-H」にできればと考えています。

JISTA北海道支部では、広報や会員間の連絡にFacebookを活用しています（４．参照）

|  |
| --- |
| 1. **SAAJ-Hの 認知向上および会員増** IPAの統計では2016年度のシステム監査技術者試験合格者が４８名おり、 人口比で案分すると１６名は札幌市内在住と推測される。 （札幌市の人口１８０万人／北海道の人口５４７万） 上記から、SAAJ-Hの会員となり得る層は一定数存在すると考えられる。  しかし、SAAJ本体のホームページを積極的に閲覧しない限りはSAAJ-Hの活動を知ることは難しい。 とはいえ、支部活動の活性化には、SAAJ-Hの認知度向上が必須である。  そこで、20～60代で利用率が高い※Facebookにて、活動状況を公開したい。 ※総務省「社会課題解決のための新たなICTサービス・技術への人々の意識に関する調査研究」（平成27年）  これにより、認知度向上および会員増を目指したい 2. **研究会の参加者増** 月例研究会は、MLでの告知・集約が基本である。 これと並行してFacebookの「イベント」機能により、非会員の参加を 受け付けられるようにしたい。 (あくまでも会員の参加を優先) 3. **システム監査の普及** システム監査の普及のため、Facebookを通して道内企業にシステム監査の必要性やメリットを訴求したい。 |

1. 必要費用

なし（無料）

1. 運営イメージ

・SAAJ-Hメンバーのうち、Facebookアカウントを持つ者がページの管理権限を持つ。  
（当面は、支部長・副支部長・研究会担当による管理を想定）

・月例研究会の開催決定時、Facebookにも告知を行う。

・非会員から申込があった際は、研究会担当が返信・対応を行う。

・月例研究会の開催時、会場の様子を撮影。投稿する。（参加者のプライバシーに配慮）

・月に１回程度、システム監査の普及に関する投稿を行う。  
(なお、内容は「システム監査を知るための小冊子」に沿うことを基本とする))

・総会、合宿、春季試験時に適宜書き込みを実施する

　　※投稿内容は、管理権限を持つ会員同士により相互チェックを行う。

４．（参考）JISTA北海道支部のFacebookページ

